



～校長室通信～

ひがしっ子



6月特別号
令和7年 6月18日
国分寺東小学校 坂本順子



今月は、下野市いじめ防止強調月間です。

梅雨という言葉をしてしまうかのように、暑い日が続いています。学校では熱中症警戒アラート、校内に設置してある熱中症指数計を活用して、校庭での活動を制限・中止するなどの対応をしています。こどもたちが楽しみにしている水泳の授業も中止する場合があります。

今月はいじめ防止強調月間ということで、学校教育課より、保護者の皆様に「R07 いじめ防止強調月間 保護者宛リーフレット」がすぐるにて配信されたかと思います。いじめ防止強調月間の本校の取組を特別号として発行しました。HPにアップされている学校の様子など見ていただき、今月は特に意識して、お子さんに学校の様子を聞いたり、家族との会話や団らの時間をつくったりしていただけるとありがたいです。

〔本校の取組〕

(1) いじめアンケートの実施

・自分がされていやだったことや、クラスの友達で困っている人がいないかなどのアンケートを実施しました。その後、聞き取りなどを行っています。

(2) 全学級で思いやりをテーマにした授業の実施(道徳や学活等)

(3) 学級力調査

・学級力は、自分たちの学級をより良くするために発揮する子どもたちの力です。自分の学級について、目標をやりとげる力、自律する力、話をつなげる力、友だちを支える力、安心を生む力、きまりを守る力の6つを個人が評価します。その後、学級の結果から学級を良くするために、どんなことができるかを話し合っていきます。来月授業参観がありますので、各学級に掲示してある、学級力アンケート結果(レーダーチャート)をぜひ見て頂ければと思います。変化の激しい社会を生きていくこどもたちにとって、自分達で考え、協力して、改善していく過程は、とても貴重な体験です。発達段階に応じた取組を進めていきます。

(参考:出典 学級力向上プロジェクト3 スマイル・アクション事例集 田中博之編著 金子書房)

～ハートフルコーナー～ 校長室の窓から

①県民の日の集会後、今月がいじめ防止強調月間ということから、「いじめ」について、一つ例をあげて話をした内容を掲載します。

「相手の容姿や体型について言うこと」は、いじめのひとつだと考えます。体のことは、生まれもったもので、自分の力ではどうにもできないことです。私自身小さいときから身長が高かったので、「背が大きい。」と言われることは嫌でした。家の人から授かった大切な体です。それを周りの人がとやかく言う必要はないのです。

「金子みすずさんの有名な詩「みんなちがってみんないい。」ひとりひとりが違っていいのです。

今年のキーワードの中にある「自分で考えて」を大切にしてください。自分の行動、発している言葉をよく考えて、学校生活を送りましょう。

②雑感

各学級に出向いた際、こども同士の言葉遣いについて気になることがあります。国語科では、低学年から丁寧な言葉遣いを学び、高学年になると「敬語」の学習をします。授業中や目上の人には、丁寧な言葉や敬語を使うなど、学習したことを使っていくと身につきます。こども同士においても、優しい言葉を使うことで、温かい学校がつくられていくと思います。我々教職員も、気を付けていきたいと思っています。